京城日報　七月十一日（日）夕刊
編輯兼發行人 鬼島吉治　印刷人 小川三之介
京城府太平通一丁目 發行所 合資會社 京城日報社

又も北支に戰雲渦巻く

蘆溝橋の我部隊に對し支那軍が再度攻撃し來る

永定河右岸の支那兵は益々增加

挑戰行爲露骨化し逆睹を許さず

【天津十日發同盟】支那駐屯軍司令部十日午後十時發表
蘆溝橋附近の日支兩軍は九日正午以來永定河を距てて矛を收め一切戰鬪行爲を固く禁止するとの協定の下に目下北平に於て會議進行中にも拘らず支那軍百餘名は十日午後五時十分より蘆溝橋北方凡そ四キロの衙門口附近より迫擊砲の攻擊を交へつつ、蘆溝橋驛附近の我が部隊に攻擊し來れるも、直に之を擊退したり七時に至つて更に新たなる部隊再び蘆溝橋に向つて攻擊し來り目下兩軍對峙中、また永定河右岸より迫擊砲を以て我が部隊に攻擊を開始せり、永定河右岸の支那兵はかくて益々增加して五ケ師團に達し、その後方に於ては彈丸を集積しつつあり、かくの如き挑戰的行爲は益々露骨化し來れるを以て形勢は逆睹を許さず、軍は飽まで事件不擴大に努めつつあるも、この努力遂に水泡に歸するの止むなきを恐るるものにして、その責は全く支那側にありと言はざるべからず

（地圖）北平　演習地　龍王廟　蘆溝橋　日本軍豐台部隊　永定川　長辛店　楊家庄

【天津十一日同盟】支那駐屯軍十一日午前二時發表

一、昨日午後二時衙門口方面より侵入せる支那軍は八日の協定により支那部隊の進出を嚴禁せる龍王廟の牟田口部隊を夜襲せるを以てこの行爲に對し該部隊長は自ら拔刀して指揮逆襲に出でて午後五時遂に龍王廟を占據した。同部落は死屍累々としてその數少くとも卅五を下らず、わが軍又十數名の死傷者を出せり

二、該方面の支那軍は主として第三十七師に屬し將校以下特に抗日意識旺盛にして師長馮治安は國民政府の强要により部下將兵に抗日教育をなせし形勢あり

三、北平の各城門は內外とも固く閉され城壁の上及び市內各所には土囊を積み支那兵によつて嚴重警戒せられ城內外の交通は全く杜絕したり

四、北平及び天津の共產黨學生は一般民衆を煽動して抗日實行に移らしめんと狂奔しつゝあり

五、軍は尙隱忍自重し冀察首腦部と平和解決に最後の努力を傾けつつあり

牟田口〇隊の殊勳

壯烈無比、龍王廟の戰鬪

【天津十一日同盟】牟田口〇隊長の率ゐる東北健兒の龍王廟に於ける戰鬪振りは眞に壯烈無比のものであつた、恰も龍王廟は日支双方の不擴大申合せにより撤退地域に包含されてゐた所であるに拘らず支那軍は十日この協定を無視して午後十時頃夜陰に乘じ迫擊砲應援の下に龍王廟に進襲し來つたので我が部隊は極度に憤激し直に應戰したが牟田口〇隊長はこれをも手ぬるしとし自ら拔刀して陣頭に立ち敵陣に斬り込んだ、これに續く我が將兵も悉く一騎當千の强者揃ひのこととて勇戰奮鬪直にこれを擊退した、この戰鬪は今日までに最も激甚を極め我が死傷も二十數名に達し敵は無數の死體を遺棄して退却した

軍省着電によれば十日夜の戰鬪において牟田口部隊は上等兵六名の戰死者および負傷者十名を出した、負傷者のうち中尉一名は重傷である、尙戰死傷者の傷は概して手榴彈によるもので以て支那側が如何に頑强に抵抗したかゞ知られる

敵の手榴彈でわが兵傷つく

【東京電話】十一日午前十時半陸

計畫的行爲と見られる諸點

【東京電話】支那軍の不法暴戾なる挑戰行爲により事態は再び惡化するに至つたが陸軍中央部では今回の事件が支那軍の計畫的行爲なることは左の諸點より見ても明かであるとし、その結果重大なる結果を招來するともその責は一に支那側にありとし極度に事態の推移を重視してゐる

一、九日午後撤退を約せるに拘らず支那側は軍隊を補充して兵力の增强を行つたこと
一、龍王廟城壁址に要衝に土囊を築き警戒を嚴重にしたること
一、事件突發以前に北寧線を爆破し交通を杜絕せしめたこと
一、飛行隊に動員命令を發したこと
一、冀察首腦者が外人記者團に挑戰的放言をなしたこと

參謀總長宮殿下 葉山御用邸御伺候

【東京電話】閑院參謀總長宮殿下には十一日午前九時五十二分東京驛御發、同十時五十一分逗子驛御着、直ちに葉山御用邸に御伺候、天皇陛下に事項に關し種々御下問に御奉答ののち御退出遊ばされた

邦人旅館に支那兵暴行

【天津十一日同盟】豐台來電によれば北平某日本人旅館に今朝武裝した支那兵五名侵入し暴行を働き三名の負傷者を出した

支那駐屯軍司令官更迭す

後任は香月清司中將

【東京電話】十一日午前十一時三十分陸軍省發表
陸軍中將 從三位勳二等功五級 香月清司
補支那駐屯軍司令官
支那駐屯軍司令官 陸軍中將 田代皖一郎
參謀本部附仰付けらる

【東京電話】十一日陸軍省發表＝教育總監部本部長香月中將は本十一日午前八時陸相官邸に於て杉山陸軍大臣より重要訓令を受け午前八時十五分官邸を辭し參謀本部に向つた、同中將は本日午前十時立川發軍用飛行機にて直路〇〇に向ふ豫定である（寫眞は香月中將）

立川發

【立川電話】北支の事態急を告げるに至つたので十一日朝急遽重要訓令を受けて〇〇に向ふことになつた香月中將は十一日午前十時五十分飛行將校とともに航空技術研究所のダグラス機に搭乘、折柄の雨を衝いて立川陸軍飛行場を出發一路目的地に向つた

田代軍司令官は病氣 更迭の事情

【東京電話】陸軍は十一日前項の如く支那駐屯軍司令官の更迭を行つたが右は田代現司令官が心臟辨膜症で久しく病床にあり軍務遂行上困難な狀態にある折柄北支の形勢が重大化したので更迭を行つたものである

阿南人事局長 葉山に伺候

【東京電話】阿南陸軍省人事局長は十一日午前五時半重要人事奏上のため自動車にて葉山御用邸に伺候した

支那側の出樣如何で斷乎たる決意で臨む

關係當局の意見一致

【東京電話】日支兩軍衝突し再び關係軍大化の報に我が關係當局は陸軍首腦部が十日深更陸相官邸に參集、對策協議を行つたのを始め海軍、外務兩當局も關係官何れも登廳し現地よりの情報を聽取すると共に關係方面との連絡を緊密にし對策協議を遂げたが支那側が計畫的に戰鬪行爲停止の協定を蹂躪して撤兵區域に侵入し我方に不法射擊を加へ來つた不信暴戾の行爲に對し極度に憤激し支那側があくまでかゝる態度を繰返すにおいては我方の不擴大方針は徒らに彼を增長せしむるに過ぎないので先方の出樣如何によつては斷乎決意を以て臨むの外なしと云ふに一致してゐる

五相會議を開き根本方針を協議

【東京電話】支那側の停戰協定蹂躪に基づく日支衝突事件に對する帝國の根本方針については十一日午前十一時半より首相官邸に五相會議を開き目下協議中であるが、政府は右五相會議の方針決定を待つて直ちに臨時閣議を開き五相會議の結果を正式閣議に附し確定し閣議後近衞首相は直ちに葉山御用邸に伺候 天皇陛下に拜謁仰付けられ我が斷乎たる方針を上奏、御裁可を仰ぎ即日歸京する手筈となつてゐるが、政府としては右方針を中外に闡明することになるやも知れない

陸軍首腦部重要協議

【東京電話】支那側の不法射擊により蘆溝橋方面の事態は再び險惡化し然も支那側の行爲は頗る計畫的と見られるので、陸軍首腦部は事態を重大視し十一日午前二時陸相官邸に杉山陸相、梅津次官、後宮軍務局長、今井參謀次長以下關係官全部參集、現地よりの情報に基いて緊急對策につき重要協議を遂げた

海軍首腦會議

【東京電話】海軍では十一日午前四時半海相官邸に首腦部會議を開き米內海相、山本次官、豐田軍務局長以下各局課長參集、現地よりの情報に基き陸軍と緊密なる連絡をとつて種々對策を協議し五時半散會したが大臣、次官を除く各局部課長は全部海軍省に居殘り非常警戒に當つてゐる

第三艦隊重要協議

【上海十一日同盟】旗艦〇〇にて南支巡航中であつた長谷川第三艦隊司令長官は今次事變の重大性に鑑み急遽旅程を變更し十一日早朝六時來滬に歸港、直ちに大川內陸戰隊長、本田海軍武官を旗艦〇〇に招致して事變前に現地狀況につき報告を聽取、在留民の保護並に現地における海軍としての對策につき協議した

我戰死傷は十六名

【北平十一日午前九時發同盟至急報】北平陸軍武官室發表＝暴戾なる支那軍の破約による不法行爲に我が軍はやむを得ず龍王廟及び長辛店を攻擊し以て敵の抵抗を排し頭戰術的に殆と殲滅的擊退を與へた後遂にこれを占領したり、この戰鬪による我が軍の損害は戰死六名、負傷將校二名、下士兵とも八名
現在までに判明せる氏名左の如し
戰死 山崎一等兵
負傷 山下中尉、稻葉中尉、宮本軍曹、荒井二等兵
爾後我軍は現在の位置を確保しをり戰線一般に靜穩なり

國民政府外交部我大使館に抗議

【南京十日同盟】國民政府外交部は日本大使館に對し抗議を提出すると共に冀察側の秦德純氏、魏宗瀚氏に對し右抗議と同一主旨に基き日本と折衝開始に移るやう訓令を發した、中央外交當局側は是を以て現地における折衝振りを監視せしめるものであると見られてゐる

抗議の內容

【南京十一日同盟】國民政府外交部は十日午後七時支那側（一）駐支の正式抗議を提出し來つた、抗議內容は日支兩軍衝北支事件につき正式抗議を提出し來つた、抗議內容は日支兩軍衝突の責任は日本側にありと強辯し左の通り要求してゐる

（一）日本軍の正式謝罪及び責任者の處罰（二）支那軍民及び砲擊による建物の損害賠償（三）不祥事件の再發防止と日本軍今後の保障を要求する

抗日强硬方針決定

【漢口十一日同盟】九日龍王廟における日支兩軍激戰の報に廬山に在る蔣介石氏は直ちに汪精衞氏、軍政部長何應欽氏、軍政部次長陳誠氏等軍政首腦部を招致し緊急會議を開催、第二十九軍の對日抗戰方針三項目を可決、同夜直ちに北平市長兼第三十七師長馮治安氏宛三項目實行を指令した、對日抗戰方針三項目は左の通りである

一、如何なる妥協條件も一切之を拒絕せよ
一、一歩たりとも退去を許さず
一、必要の場合は犧牲者を惜しむべからず

◇有田光甫氏（殖銀頭取）十一日午後一時十五分京城驛發急行旅客機で東上

陸軍省全員非常召集

【東京電話】陸軍省は十一日午前三時陸軍省全員に對し午前六時迄に全員登廳するやう非常召集命令を發した

森島參事官急遽歸任

【東京電話】森島北平大使館參事官は十一日午後三時北平に急遽歸任した

號外發行

蘆溝橋における日支兩軍再衝突その他につき十一日早朝號外を發行、速報いたしました

十一日朝の概況

今朝低氣壓は松花江流域に在つて不連續線は此の中心から南西に走つて中江鎭の東方から仁川の西方に通り拔けてみます、この爲滿洲と揚子江流域は晴れて來ましたが朝鮮は引續き雨が降つたり止んだりの日が多く、西鮮地方では大體雨は止みましたが昨日來二十粍から六十粍の雨量に達し北鮮でも二三十粍に達して居ます、內地も一般に天氣惡く曇り勝ちです、氣溫は一般に一度乃至二度の高目ですが城津、元山は一二度低くなつてゐます

天氣豫報（12日）

地方	風	天氣
黃海 京畿 忠南 北	西乃至北の風	一般には曇だが雨が降る處もある
全北 全南	南西乃至北西の風	大體は曇だが時々雨がある
慶北 慶南	南乃至西の風	〃
平南 平北	北西乃至北東の風	始めは曇だが後には晴
咸南 江原 咸北	南西乃至北西の風	大體は曇だが時々雨がある
咸北 咸南 北部	南西乃至北西の風	〃

京城地方【今晚】曇り【明日】曇り時々晴
仁川地方【今晚】風弱く曇【明日】風弱く曇後霧がかゝる
京城溫度（十日）最高二五度六 最低二二度三（十一日）正午二二度

仁川の潮時（12）

滿潮 午前 午後
干潮 午前 午後

曉星雙紙（104）

田中貢太郎 作
河野通勢 畫

豺狼（二）

二人は飲みさしの酒を持つた。新之助はそれに酌をしたが、心配になるのか主税を見た。

『知れたら、どうするの。』

新之助が師匠に笑ひかけ。

『小判の浪飯え、わつちや猫がめんずから、お師匠さんを掴んでみます。』

『いやよ、井田さんは、ふざけてはかりみて師匠に知れたらどうするの。』

『知れたら、酒屋の親仁を叩き斬りんす。』

『厭だよ。』

主税はよろよろとした。師匠はまた主税を見た。

『おまへさん、そんなに酔つちやあぶないよ、喧嘩をしたらどうするの。』

『英雄豪傑が、一たび家傳の寶刀を持つて立てば、酔なんか吹つ飛ぶんだ。』

『その吹つ飛ぶが酔でなくつて、自分だつたらどうするの、豚を斬らないで、師匠でも斬つたら大變ぢやないか、だいち わたしが困るよ。』

『いゝ、いゝ、大丈夫だよ、』相手になるのが嫌くなつたのか、盃を投げるなり新之助を促した。

『井田、往くか。』

『往くとも、さあ、往かう。』

二人は白刃を提げながら裏口から出た。外は下弦の月が出て明るかつた。々と鳴く豚の鳴き聲が近ちかと聞えた。主税は月に向つて酒臭い呼吸を吐いた。

『月か。』

井戸に形ばかりの竹垣の垣根があつて、それが朽ち古びて處どころ穴が開いてゐた。二人はその垣根を越えて外へ出た。猫のやうな一幅の空地があつて、その向に豚舎の汚い小屋があつた。それが小舎の外廓であつた。

『此處だ。』

『なるほど。』

二人は白刃を口にくはへて柵を乗り越えて往つた。内には鬱蒼の豚舎の小舎があつて、その内に豚が鳴いてみた。主税が叫ぶやうに云つた。

『なるほど臭い。』

『臭いうへに鳴かれたのぢややりきれない。』

『何で飼つてるのだ。』

『芋でも大根でも、煮てやれば、何でも喰ふといふのだ。』

『豚は人間の糞を喰ふといふのぢやねえか。』

『だから蕪畑らへだらう。』

『ちがひねえ。』

『やるか。』

『やらう、』怒鳴りだして、『おい、足下は、豚のころつてのを知つてるか。』

『ころ、ころつて何だ。』

『豚の胎兒だよ。』

『どうするのだ。』

『とても旨いさうだ、唐人は、豚はころに限ると云ふさうだぜ。』

『それぢやころを執るか。』

『執らうぢやねえか、勿論唐人の云ふ事でも、理屈があるかも判らねえぜ。』

『それや、判らねえ、それぢや論より證據だ、執つて、假名に唹けしてやらうぢやねえか。』

『よからう。』

『それぢや、そろそろかからう。』

『かからう、が、臭いな、この内へ入るか。』

『虎穴に入らずんば、虎兒を得ずさ。』

『それぢや豚穴に入らずんば、豚兒を得ずか、臭くつてもがまんするか。』

『一刻のがまんぢや。』

『よからう。』

二人は繩でからげてあつた板戸を開けて内へ入つた。

『さあ来い豚穴だ。』

『豚郎、なし斷だ。』

二人の跫音に驚いて豚のぎやあぎやあと云ふ悲鳴が聞えだした。二人が手あたりしだいに斬りはじめたところだらう。

昭和十二年七月十二日（明治三十九年八月十日第三種郵便物認可）

京城日報

號外

發行所 京城府太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話本局（2）一二八一番
振替京城 三〇〇番
發行人兼編輯人 兒島吉治
印刷人 小川三之介

北支の事態急迫を告ぐ

北支派兵に關して所要の措置を爲すに決す

きのふ帝國の方針を聲明

【東京電話】政府は十一日の閣議決定に基き今次事變に對する帝國の方針を左の如く聲明した

政府聲明 一 相踵ぐ支那側の侮日行爲に對し支那駐屯軍は隱忍靜觀中のところ、從來我と提携して北支の治安に任じありし第廿九軍は七月七日夜半蘆溝橋附近における不法射擊に端を發し、該軍と衝突の已むなきに至れるため、平津方面の情勢逼迫し我が在留民は特に危殆に瀕するに至りしも、我が方は和平解決の望みを捨てず事件不擴大の方針に基き局地的解決に努力しあつたが、第二十九軍側において平和的解決を承諾したるに拘らず突如七月十日夜に至り彼は不法にも我を攻擊し再び我に相當の死傷を生ずるに至らしめ、而も蒋りに第一線兵力を增加し更に西苑の部隊を南進せしめ中央軍に出動を命ずるなど、武力的準備をすゝめるとともに平和的交涉に應ずる誠意なく、遂に北支における交涉は全面的に拒否するに至れり以上の事實に鑑み今次事件は全く支那側の計畫的武力抗日なることは最早疑の餘地なし、惟ふに北支治安維持が帝國及滿洲國にとり緊要なることはこゝに贅言を要せざるところにして、支那側が不法行爲は勿論排日侮日行爲に對する謝罪をなし及び今後かゝる行爲なからしめるための適當なる保障などをなすことは東亞平和維持上極めて緊要なり、よつて政府は本日の閣議に於て重大決意をなし、北支派兵に關し政府としてとるべき所要の措置をなすことに決せり、しかれども東亞平和の維持は帝國の常に顧念するところなるを以て、政府は今後とも局面不擴大のため平和的折衝の望みを捨てず、支那側の速かなる反省によつて事態の圓滿なる解決を希望する、又列國權益保存については もとより充分これを考慮せんとするものなり

寫眞は、京城飛行場に到着の香月支那駐屯軍司令官

一片の口約束は信用出來ぬ

◇—陸軍當局の發表

【東京電話】陸軍當局十一日午後十時發表＝現地からの通信による と支那側は我が駐屯軍の要求全部を容れたとかの報道もあるが、かゝる一片の口約束で信用することは出來ぬ、既に違背の行爲によつて瀕淌を呑まされてゐるので、吾人は既定方針によつて斷乎情勢の推移を監視して行く

外相に報告

【東京電話】外務省河相情報部長は十一日午前一時半外務省に登廳現地よりの情報を電話を以て鵠沼にある廣田外相及び堀内次官に報告し種々協議を遂げた

自衛權を發動して暴戻行爲を排除

緊急閣議で確認

【東京電話】重大時局對處の臨時緊急閣議は十一日午後二時三十分より五相會議に引續いて首相官邸に開會、近衞首相以下全閣僚出席、先づ近衞首相より五相會議の經過並に結果を報告し五相會議の結果に基き政府としての事件處理方針を諮り

一、帝國政府がさきに事件不擴大の方針を以て臨めるに拘らず、支那側がかくの如き背信行動に出づる以上我方としてはこの際自衞權を發動して支那側の暴戻行爲を排除し併せて我居留民の權益保護のため有効適切なる方法を執る

一、帝國のこの確固不動の方針を中外に宣明し、併せて支那側の[illegible]を要請する

一、右のため必要なる經費支出の件

を附議し、各閣僚異議なく右方針を確認し擧國一致事態の處理に當ることを申し合せて同三時四十分散會した

五相會議經過 風見翰長發表

【東京電話】風見書記官長は十一日午後一時五十五分、五相會議の經過を左の如く發表した

風見書記官長發表 首相は午前十一時半官邸に入り直ちに陸相、海相、外相、藏相の四大臣と個々に熟談したるのち右五相膝を交へて午後一時二十分まで熟議を凝し閣議に諮るべき成案を確定した、この成案は午後二時全閣僚の參集を求めて閣議に諮ることとなつた

政務官會議申合せ

【東京電話】支那側の不法態度に對する帝國政府の根本方針は十一日の五相會議及閣議にて決定を見たので、同日午後三時より臨時政務官會議を開き風見書記官長より閣議決定の內容を詳細に說明し閣議決定方針の徹底に擧國一致邁進することを申合せた

有効適切なる具體的方法を執る

けふ廟議決定す

【東京電話】政府は支那側の停戰協定蹂躙に基く北支時局の重大化に對する廟議決定のため、十一日午前十一時半より首相官邸に五相會議を開き、先づ杉山陸相より暴戻なる支那軍の行動並に之に對應して我軍がとつた自衞行動の內容を詳細に報告した後協議に入つた結果、帝國政府がさきに事件不擴大の方針をもつて臨めるに拘らず支那側が斯くの如き不信行爲に出づる以上、我方としては最早や支那側の不法行爲を排除し併せて北支にある我居留民と諸條約に基く權益擁護のため有効適切なる具體的方法を執るの外なしと云ふに決定し、直に閣議を開き右決定を正式に確認し諸般の手續を執ると共に直ちに帝國の公正妥當なる方針を中外に宣明することとなり、近衞首相は右閣議終了後直ちに葉山御用邸に伺候 天皇陛下に拜謁仰付けられ閣議決定の方針を奏上、種々御下問に奉答した

【東京電話】臨時重大閣議は十一日午後二時首相官邸に開催、五相會議で決定せる成案に關して[illegible]審議の結果、これを承認した、よつて近衞首相は直ちに葉山御用邸に伺候、上奏御裁可を仰ぐこととなつた

兩陛下けふ還幸啓

【東京電話】宮內省十一日午後八時四十分發表 天皇、皇后兩陛下におかせられては來る特別議會御開會まで葉山御用邸に御駐輦の御豫定のところ、目下の時局に鑑み明十二日午後 兩陛下御揃ひにて還幸啓あらせられる旨仰出された

御發着割 十二日午後一時五十分葉山御用邸御出門、同二時十五分逗子驛御發車、同三時五分東京驛御着車還御

けふ午前七時 飛行場を出發

【朝鮮軍司令部發表】香月支那駐屯軍司令官は十二日午前七時陸軍機で京城飛行場を出發新京に向ひ植田關東軍司令官と詳細打合せを行ひたる後、北支方面に向ふ筈である

香月支那駐屯軍司令官 昨夕飛行機で入城

川岸第二十師團長らと懇談 南總督を官邸に訪問

北支の事態急迫と共に重要訓令を帶び、支那駐屯軍司令官に補せられた香月淸司中將は十一日午前十時五十分參謀と共に航空技術研究所のダグラス機に搭乘立川を出發任地〇〇に向ふ途中、折柄の密雲を衝いて午後六時十分汝矣島飛行場に到着、出迎への川岸第廿師團長、井村同參謀長、山下第四十旅團長、久納朝鮮軍參謀長、內田軍高級參謀、深堀同參謀らの歡迎を受け、日露役當時の武勳を思はせる想ひ出の長刀をしつかと握りしめ、力强く「ヤア、ヤア」と挨拶 神津飛行場長室に入り約卅分間に亘り、北支事變の情報を中心に、川岸師團長、久納軍參謀長と懇談して懇談を交へたが、時折窓外に力强い微笑が洩れてゐた、會談を終つた香月司令官は眉宇に決意をほのめかせつゝ微笑を以て

「ヤア、行けるところ迄飛ぶつもりでゐたが、まづ今夜は休養ぢや」

とて直に自動車を驅へ南總督を官邸に訪問、終つて偕行社にひとまづ休息した

殲滅を期すのみ

國民の聲援を望みたい

香月中將談

香月中將は、いま一億國民の熱誠火を吐く銃後の激勵を五尺六寸の巨軀に受けて、全幅の信頼を双肩に荷負ひつゝ眉宇には堅き決意が刻まれてゐるが、摘発す前の火急北支を目差して勇途なる無敵皇軍を統帥すべく急行途上の將軍とは思はれぬ沈着振りで、偕行社の一室にドッカと腰を下ろした將軍は見るからに頼もしい

今回 はからずも支那駐屯軍司令官の重任を帶び、風雲の北支に赴くことになつた、日本と親善を存して來た宋哲元は突如豹變し中央軍化することになつたのだ、重なる侮日に帝國の威信は傷づけられ、皇軍の面目は踏みつけられようとしてゐる、隱忍自重し和平解決を望んで來た帝國は、もう支那側の不信極まる態度、その暴虐を默して居れなくなつた

こゝ に於いて正義の軍を進め暴戻支那を膺懲するといふより、もう事こゝに至つては殲滅を期すのみだ、北支の權益と在留同胞保護のため中外に聲明を發して最後の態度に出ることに決したのである、軍司令官としての決心も出來てゐる、用兵作戰も決つてゐる、併し國民は暫く皇軍の行動を見て居つて貰ひたい

その 他の事については一切申上げられない、特に國民にお願ひしたいのは北支の再認識である、滿洲事變の時もさうであつたが、銃後の聲がなければ皇軍は第一線にあつて十分の活躍が出來ない、自分は國民の聲援を望みたい、なほ南總督閣下と只今お會ひし閣下が關東軍司令官當時の支那の情勢を色々お尋ねした

小磯 朝鮮軍司令官閣下は目下出張中であるが、お歸りになり次第假令深夜になつてもお會ひする、飛行機に乘つて居た六、七時間の間全く現地の模樣[illegible]

今次紛爭事件を事變と稱す

【東京電話】風見書記官長は十一日午後五時半左の如く發表した 今次紛爭事件はその性質に鑑み事變と稱す

が判らなかつたので、今蒋原に狀況を認めさせてゐるところだ 明日（十二日）何時出發するかつて？それは云へないよ、他の者に何十萬元かゝつてゐるだらうからな、高射砲でもズドーンと來たら大變だからなワッハハ……」

戰時の北支へ急ぐ香月將軍の豪快な笑ひは既に支那軍を吹き飛ばす勢ひである

居留民の保護 出先に訓電

【東京電話】外務省は北支の形勢急迫に鑑み十一日午前、南支の領事、總領事に對し我が居留民の安全防護及び最惡の場合の安全引揚方に關し萬般の準備措置を講ずるやう訓電を發した、今後更に事態擴大の上は追つて引揚命令を發する筈である

萬、馬兩部隊は抗日意識に燃ゆ

◇—舊東北軍を改編

【上海十一日同盟】十日夜河北の戰線に待機命令に接し河南省境に集結した中央軍の四ヶ師は第五十三軍長萬福麟氏、第九十一師長馬占海氏の守備隊が目下省境以南から鄭州附近一帶に待機し、命令一下即時石家莊の線に進出せんとする形勢を整へてゐる、事態急迫の際は河北省境を突破し馮治安部抗日戰線に參加し第廿九軍と協力すべしとの秘密命令を受けてゐる 萬福麟、馬占山兩部隊は舊東北軍にして西安事變直後中央軍に改編されたもので、第廿九軍におとらぬ抗日意識に燃えてゐる

小磯軍司令官歸城

平北國境第一線の防衞檢閱中であつた小磯朝鮮軍司令官は、蘆溝橋事件に端を發した北支の時局險惡に鑑み十二日午後二時卅三分「のぞみ」で歸任の豫定を繰上げ、十二日午前三時三分京城着「ひかり」で歸任

留守

宅で夫人、令息等が「何時も何にも云ひませんからよく判りませんが今度は全く突然のことだつたやうです、國家の御役に立つてくれと願つて居ります」と語つてゐた

日露

戰役で功五級金鵄勳章を頂いた戰功を頂てた愛用の軍刀を投げ軍刀をぐつと握つて陸相官邸に向つた、待ち構へた杉山陸相から重大訓令を受けたのち常務等と乾盃を交し、參謀を帶同して立川飛行場に向ひ午前十時軍用機上の人となつたのである

七、八年の少尉に任官したばかりで明治三十[illegible]軍刀を腰に佩いた、これは將軍が今朝は特に指揮刀の代りに古びた廻り品をつめたトランク一個だが愛用の軍刀を[illegible]

「おい、よく勉强するんだぞ」とただ一言、令息二人に[illegible]

殘務

を整理し長男騎兵中尉（[illegible]）は不在中だが夫人、次男千葉醫大一年生滋雄君（三）、三男成城中學四年生滿雄君（一）と共に默々と朝食をしたためて七時半玄關に立つた、仕度は僅かに身の廻り品をつめたトランク一個だが

勝栗

とするめの膳を交して將軍は [illegible]

し午前十時立川飛行場から軍用機に搭乘急遽〇〇に向つた、將軍は杉並區阿佐ヶ谷六ノ一九三の自邸で十日夜は平常通り家族と談笑して午後九時就寢したが、此夜未だ深い十一日未明午前四時けたゝましい電話のベル、受話器をとつてウンウンと幾度かうなづいた、將軍は傍の夫人テルさん（[illegible]）に「これから直ぐ〇〇に行くから支度をしてくれ」と云々しく言渡した、肥馬區、五十七歲と見えぬ五尺七寸、十九貫の偉軀を軍服に包み

その朝の香月中將

急遽〇〇へ

【東京電話】日支の關係緊く北支戰線に重大な激戰の危期を孕む時重大任務を受けた新司令官香月中將は十一日朝陸相官邸において杉山陸相、參謀本部、教育總監部首腦、杉山陸相以下將校と[illegible]

田代中將病狀

天津軍が發表

【天津十一日同盟】天津軍司令部は十一日午後[illegible]田代中將の病狀につき左の如く發表した

田代中將は昨年在勤以來心身過勞の結果[illegible]の症狀にありたるも、[illegible]に支障なかりしが本年六月七日山海關部隊の[illegible]を巡視し[illegible]發作を起し[illegible]せり、爾後時々之を反復し官邸にあつて療養中同月十六日及二十七日發熱を伴ふ[illegible]發作ありしため、[illegible]重症の度を加へたるのみならず時々[illegible]を缺くなど[illegible]機能不全の症狀あり、[illegible]得ざるに至れるものなり

支那側が逆襲的要求

和平解決絶望

【天津十一日同盟】北平における日支交涉に於て和平解決を期待する我が最小限の要求に對して、支那側は中央の命令なりとし却つて我が方に對し

一、事件の責任は日本側に在ること

二、日本側は遺憾の意を表すること

三、日本側は相當の賠償を支那へなすこと

の三項を要求、全く本末顚倒の要求をなし逆襲的に出て來た、右は十日夜南京政府より特に熊斌氏に對し示達し來たるもので、この無誠意ぶりまた極まれりといふ外なく、今や和平交涉の前途は殆ど絶望視されるに至つた

裏面に續く

京城日報

昭和十二年七月十二日

第二號外

發行所 京城府太平通一丁目 合資會社 京城日報社

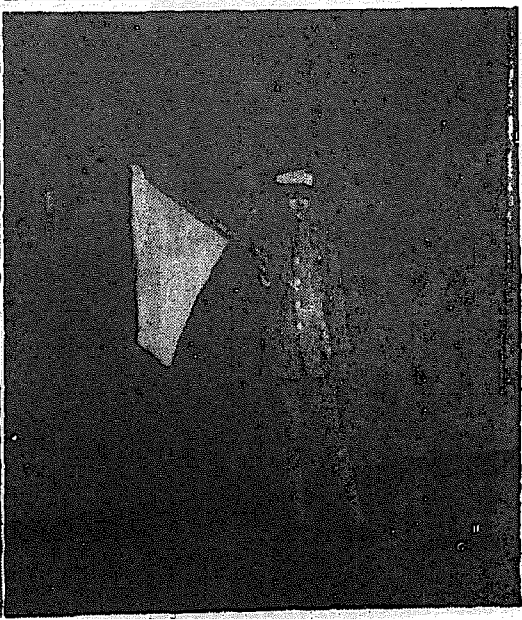
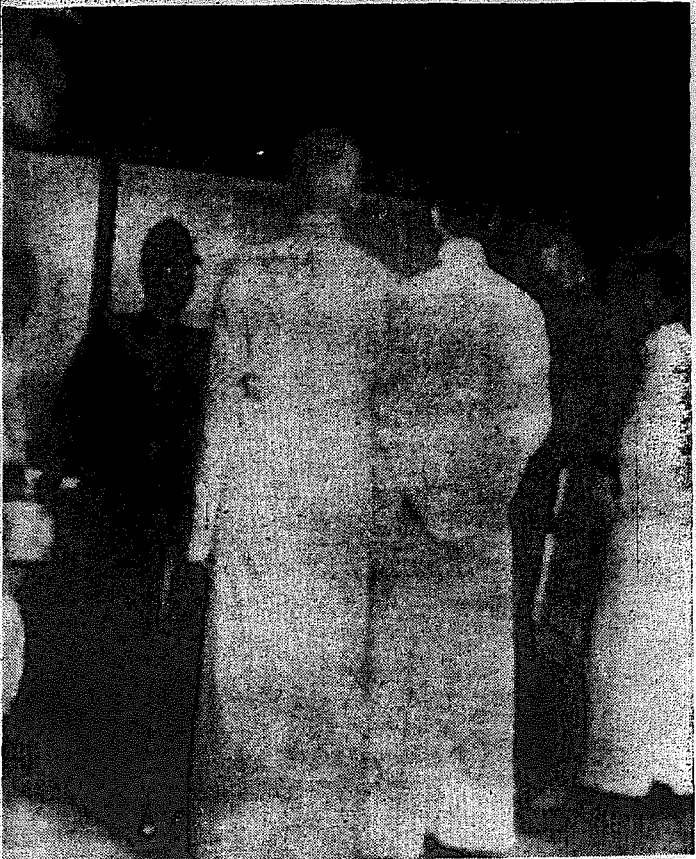
電話本局(2)一一八一番 振替京城 三〇〇番

編輯兼發行人 兒島吉治

印刷人 小川

蘆溝橋事變畫報（裏面にもあり）

【上】龍王廟附近村落にて休養中のわが軍 【下右】事件發生の翌日七月八日午前十時半日本軍より宛平縣城内にある日支共同調査員に宛てた手紙を白旗を揭げて送つて來た支那の巡警【下左】宛平縣城外蘆溝橋の支那軍兵營附近で戰鬪中の廿九軍兵士

日支兩軍激戰中

豐台より一線に向はんとした 我軍を支那兵が阻止

【上海十三日同盟】十三日午後一時支那側の報道によれば　豐台から第一線に向はんとした日本軍を支那兵が阻止したことにより衝突、目下激戰中であると

日支兩軍愈よ衝突か

【天津十三日同盟】十三日午前十一時半頃遙か南方より銃砲聲頻りに聞え　日支兩軍が衝突したのではないかと見られる

宋哲元が一戰決意

各將領に開戰準備を命ず

【天津十三日同盟】有力なる支那筋からの情報によると冀察政務委員長宋哲元氏は遂に日本軍と一戰を交へる決意を固め、昨夜部下各將領に開戰準備を命じた

我軍の到着前に攻勢に出る！

宋哲元が密令す

【上海十三日同盟】確實なる方面に達した情報によれば、宋哲元氏は十二日夜中央に對して武器彈藥及び軍費二百萬元並に中央航空隊の第二十九軍援助を要請すると共に、麾下各師長に對して日本軍增援部隊到着前に[illegible]に出動し近代兵器を有する日本軍に對しては努めて當面の戰鬪を回避し遊撃戰を選ぶやう密令した

徐州に飛行機集結

【天津十三日同盟】津浦線で天津に到着した旅客の談によれば目下徐州には中央軍飛行機の大部隊が集結中であると

寫眞　【右】支那側代表と某地點で會見中の河邊○隊長　【左】永定河右岸支那軍陣地塹の中に立つ廿九軍兵士

本號外は本紙に再錄致しません